

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成30年 6月 28日

福山市長 殿

提出者

住所 福山市柳津町3丁目3番19号

氏名 株式会社 野村鍍金 福山工場  
福山工場長 野村修平

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 084-934-1201

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 野村鍍金 福山工場
事業場の所在地	福山市柳津町三丁目3番19号
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙5のとおり**

①事業の種類	非金属製造業（2700）、金属製品製造業（2800）
②事業の規模	製造品出荷額： ¥2,089,647,000
③従業員数	120人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1-1 自らが行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項（1/2～2/2） 別紙1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程（1/10～10/10）発生工程と処理量

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2-1の管理体制図のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙2-2(1/5~5/5)のとおり

①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

別紙2-2(1/5~5/5)のとおり

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙5のとおり

①現状	【前年度（平成25年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)  別紙1-1 のとおり	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)  別紙1-1 のとおり	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙5のとおり

①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)  別紙1-1 のとおり		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

別紙5、6のとおり

①現状	【前年度（平成28年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
無し		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
無し		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成28年度）実績】 別紙5、別紙4-2 (1/3~3/3) のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組)	
それぞれの廃棄物ごとに分別し、処理業者の負担を軽減 (処理費の軽減)		

		【目標】 <b>別紙5、別紙4-2 (1/3~3/3) のとおり</b>	
②計画	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
現状維持し、汚泥等は乾燥を十分に行い廃棄物の軽減化に努める。			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙5(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度（平成 29年度）実績量  
 計画：今年度（平成 30年度）計画量

単位：トン／年

特別管理産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
感染性産業廃棄物										
ばいじん										
燃え殻										
汚泥										
特定有害産業廃棄物	廃PCB等									
	PCB汚染物									
	PCB処理物									
	指定下水汚泥									
	鉱さい									
	廃石綿等									
	燃え殻	3.58	2.8	0	0	0	0	0	0	0
	ばいじん									
	廃油(金属を含むもの)									
	汚泥(金属を含むもの)	76.68	71.5	0	0	0	0	4.5	4.5	0
廃酸(金属を含むもの)	92.44	105.6	0	0	0	0	34	34.5	0	
廃アルカリ(金属を含むもの)	22.34	17.4	0	10	0	0	16.1	16.1	0	
合計	195.04	197.3	0	10	0	0	54.6	55.1	0	

※上記に分類できない特別管理産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその特別管理産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

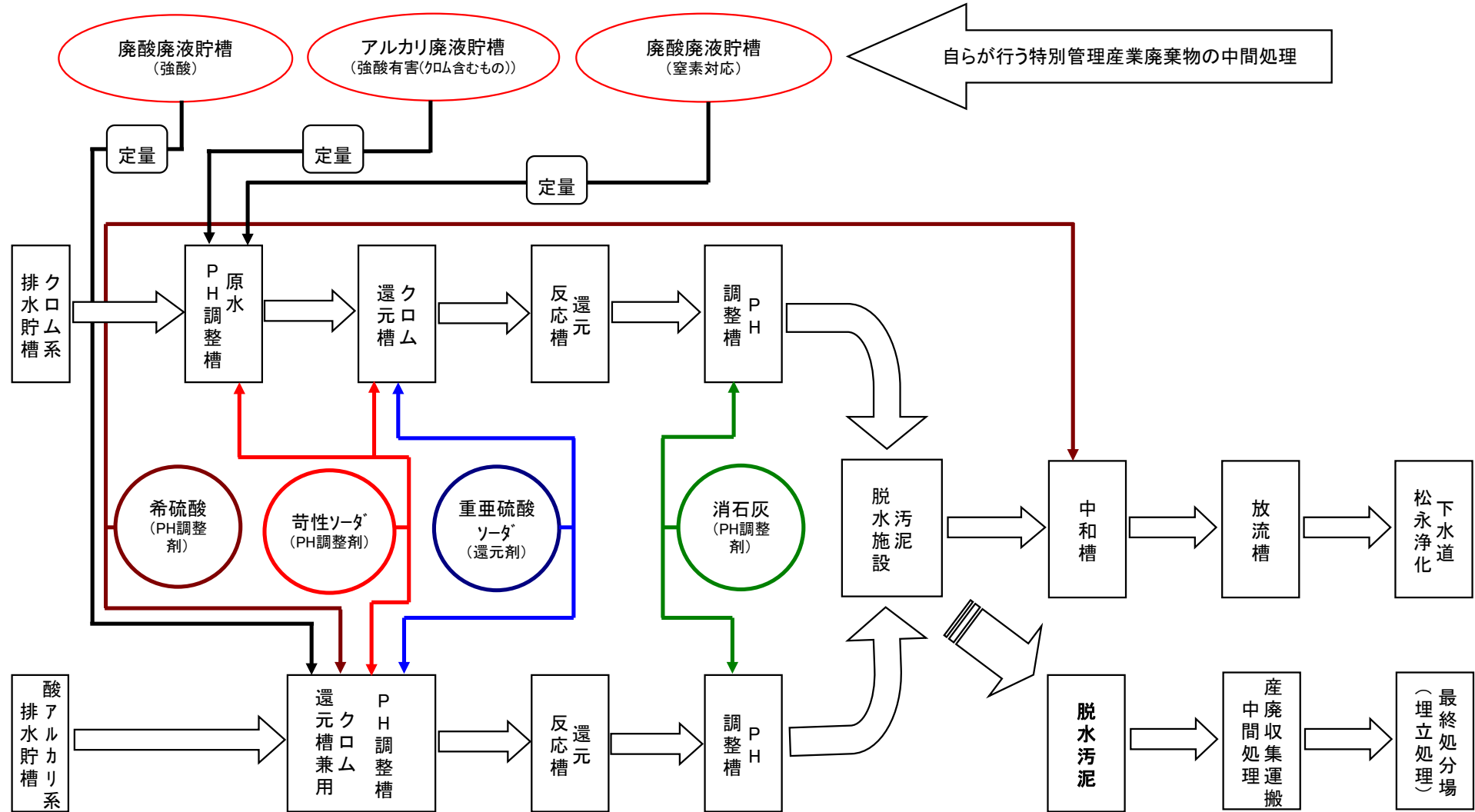
	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
特別管理産業廃棄物の種類										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
感染性産業廃棄物										
ばいじん										
燃え殻										
汚泥										
特定有害産業廃棄物	廃PCB等									
	PCB汚染物									
	PCB処理物									
	指定下水汚泥									
	鉱さい									
	廃石綿等									
	燃え殻	3.58	2.8	3.58	2.8	0	0	0	0	0
	ばいじん									
	廃油(金属を含むもの)									
	汚泥(金属を含むもの)	72.18	71.5	72.18	71.5	0	0	0	0	0
廃酸(金属を含むもの)	92.44	105.6	92.44	105.6	36.15	20	0	0	0	
廃アルカリ(金属を含むもの)	22.34	20	22.34	20	0	0	0	0	0	
合計	190.54	199.9	190.54	199.9	36.15	20	0	0	0	0



# 別紙1-1 自らが行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項(1/2)

## 排水処理ライン

当工場の排水処理は、「クロムめっき系排水処理システム」と「ニッケル・銅等の酸アルカリ系処理システム」の2系統に分けて処理を行っています。  
 このシステムは、クロム系は殆どクロムをメイン(クロム混入廃アルカリ、クロム混入廃酸)に処理を行い、酸アルカリ系は、銅、ニッケル、廃酸をメインに処理してます。  
 基本的な構造、作動は、両系統とも同じ構造、方式で、万一、酸・アルカリ系にクロムが混入しても処理可能な状態です。



## 別紙1-1 自らが行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項(2/2)

### 排水処理場で行っている、特別管理産業廃棄物の排出量の低減化に関する取り組み

現在、特別管理産業廃棄物の排出量の低減化に対しての取り組みは、以下の事について取り組んでいます。

① 酸洗浄施設より発生する、「強酸廃液(金属を含む)」

金属塩類の濃度が低い強酸(20%硫酸廃液、40%塩酸廃液等)について排水処理場にて、強酸廃液貯槽を完備し定量ポンプにて、年間約34.0tの処理を行っています。20%アップを試験的に試みましたが、うまく行かず昨年同様、の年間34.0tの処理を行っています。自主処理限界点に近付いています。

**現状年間処理量:34.0t**                      **計画:34.5t**  
**(現状維持)**

② アルカリ洗浄施設より発生する、「強アルカリ廃液(金属を含む)」

金属塩類の濃度が低い強アルカリ廃液(電解脱脂廃液、超音波脱脂廃液等)について排水処理場にて、強アルカリ廃液貯槽を完備し定量ポンプにて、年間約16.1tの処理を行っています。20%アップを試験的に試みましたが、うまく行かず限界が15%アップでした。年間16.1の処理が可能となりました。自主処理限界点に近付いています。

**現状年間処理量:16.1t**                      **計画:16.1t**  
**(現状維持)**

③ 酸アルカリ洗浄施設より発生する、「廃酸廃液(金属を含む)」

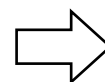
高濃度(50%硝酸)は特別管理産業廃棄物として、委託処理後、硝酸を含むめっき槽洗浄水は、そのまま排水処理を行うと窒素酸化物関連の排水基準値をクリアできないため、排水処理場に廃酸貯槽を完備し、定量ポンプにて一定量づつ排水処理を行っています。今後の動向として、30%硝酸廃液の発生していた特定施設の廃止に伴い、発生なくなり、今後は、高濃度の「ホウ素・ホウ酸系」の廃液を定量ポンプにて一定量づつ排水処理を行っています。

**現状維持**

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (1/10)  
側溝汚泥(特定有害汚泥)

特定有害汚泥  
発生工程

クロムめっき施設のある作業場の排水回収の為の側溝に溜まった汚泥を回収したもの。



特管産廃業者引取り

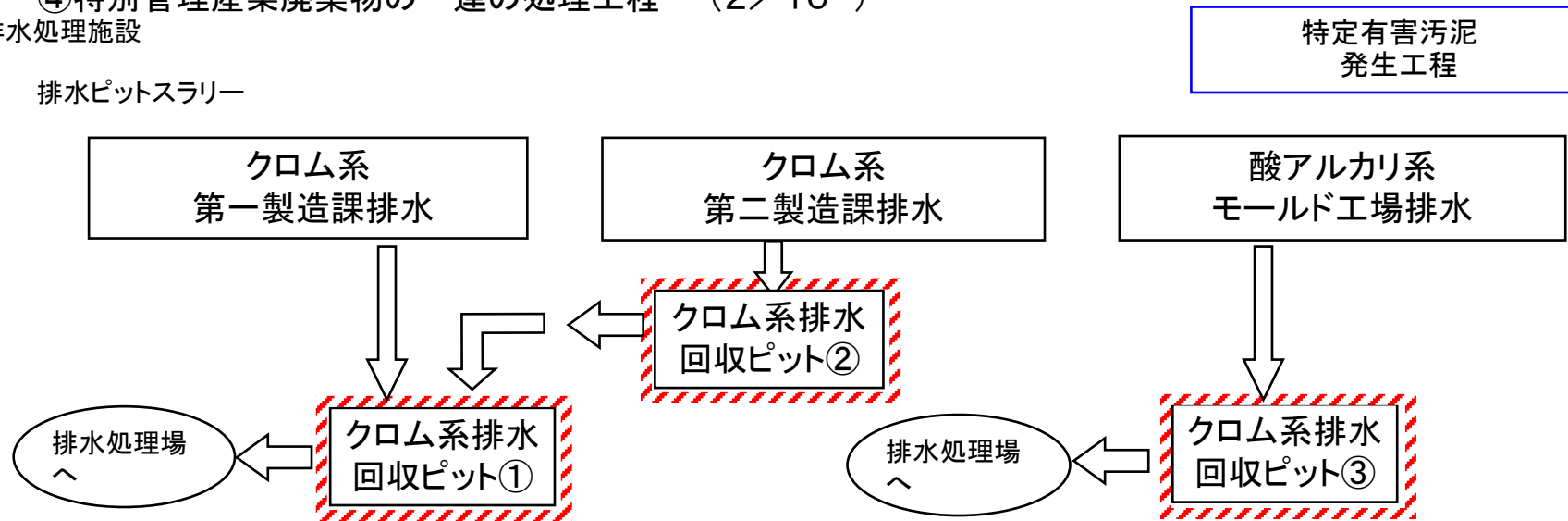
【取り組み】  
クロムめっき作業場内の側溝から回収した汚泥、主に「脱脂工程で使用する「磨き粉等」を回収する。  
この汚泥は、回収後上澄み液を除去し、更に場内にて自然乾燥で、含水率60%程度まで乾燥させている。

クロムめっき施設

No.	発生部署	発生部署	廃棄物発生量	月間平均発生量	処分内容		備考欄
					排水処理	業者委託	
	クロム系排水ピット①	福山工場 第一製造課	0.50 t	0.04 t	0.0 t	0.00 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
	クロム系排水ピット②	福山工場 第二製造課	0.50 t	0.04 t	0.0 t	0.00 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
	酸アルカリ系排水ピット	モールド工場	0.30 t	0.03 t	0.0 t	0.00 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
				計		0.00 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (2/10)  
排水処理施設

排水ピットスラリー



**【取り組み】**  
年1回、排水用回収ピットの点検、修理等を行い、クロム及び重金属類の地下浸透防止を行っている。  
排水用の回収ピットは、クロム系に2箇所、酸アルカリ系に1箇所の合計3ヶ所ありここに溜まった汚水及び沈殿物(汚泥)の回収物が「排水ピットスラリー」である。毎年1回行うことにより、汚泥量よりはるかに軽減されている。今回は汚泥量が若干増

3ピットまとめて  
特管産廃業者引取り

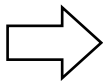
クロムめっき施設

No.	系統	発生場所	廃棄発生量	月間平均発生量	処分内容		備考欄
					社内焼却	業者委託	
1	クロム系排水ピット①	福山工場 第一製造課	4.80 t	0.40 t	0.00 t	4.80 t	年2回 5月連休と年末
2							
3							
4	クロム系排水ピット②	福山工場 第二製造課	1.25 t	0.10 t	0.00 t	1.25 t	年2回 5月連休と年末
9							
10							
11							
12	酸アルカリ系排水ピット	モールド工場	2.60 t	0.22 t	0.00 t	2.60 t	年2回 5月連休と年末
14							
			8.65	計	0.00 t	8.65 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (3/10)  
 クロム酸鉛(特定有害汚泥)

特定有害汚泥  
発生工程

クロムめっき施設のめっき槽点検、修理等で発生する「有害汚泥」で、主にクロム酸鉛です。



特管産廃業者引取り

【取り組み】  
 めっき槽からの液漏れ等の事故防止のため、年2回、めっき液を開け替え槽に移して、めっき槽のライニングの点検修理を行っている。  
 この時、めっき槽の清掃を行う際に、底に溜まった汚泥、主に「クロム酸鉛等」を回収する。クロムめっき槽沈殿物は、仕事量の増減により変動する。  
 この汚泥は、回収後上澄み液を除去し、更に場内にて自然乾燥で、含水率60~70%程度まで乾燥させていたが、作業スペース、人員等の都合により乾燥が出来なくなった。

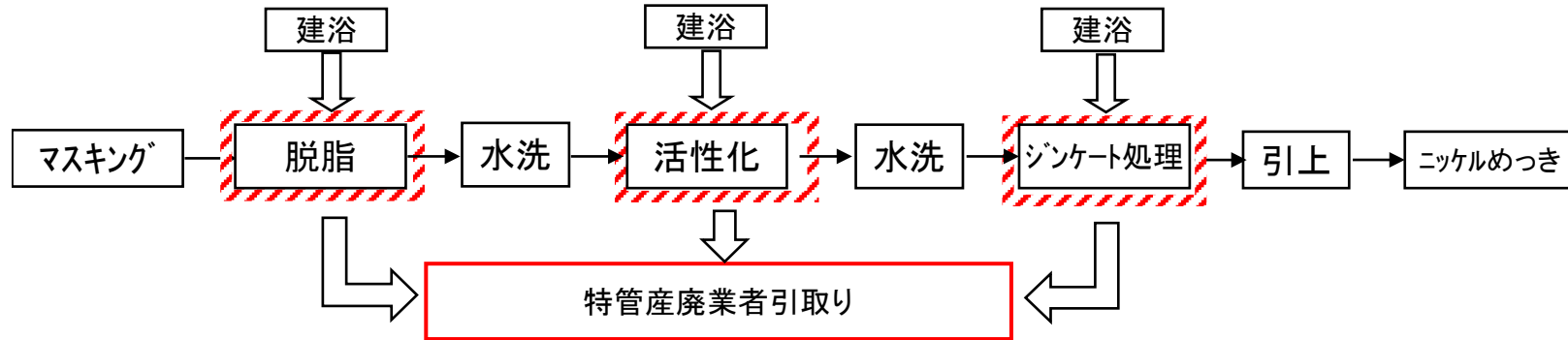
クロムめっき施設

No.	処理槽 名称	めっき槽 容量	開け替え頻 度	廃棄物発生量	月間平均 発生量	処分内容		備考欄
						排水処理	業者委託	
1	1号 R62槽	8,700 L	2.0 回/年	3.25 t	0.27 t	0.0 t	3.25 t	※特管として業者委託
2	2号 R63槽	7,600 L	2.0 回/年					
3	3号 3号槽	13,900 L	2.0 回/年					
4	4号 4号槽	15,560 L	2.0 回/年					
5	5号 5号槽	8,570 L	2.0 回/年					
6	6号 6号槽	8,000 L	2.0 回/年					
7	7号 7号槽	4,700 L	2.0 回/年					
8	10号 DS・DR槽	3,500 L	2.0 回/年	1.10 t	0.09 t	0.0 t	1.10 t	※特管として業者委託
9	8号 自動ライン	15,600 L	2.0 回/年					
10	11号 CY-1号槽	14,000 L	2.0 回/年					
11	12号 CY-2号槽	11,200 L	2.0 回/年					
12	13号 CY-3号槽	12,000 L	2.0 回/年					
13	14号 CY-4号槽	16,800 L	2.0 回/年	0.000 t	0.0000 t	0.0 t	0.00 t	※特管として業者委託
14	15号 モールト槽	1,200 L	2.0 回/年					
計							4.35 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (4/10)  
 酸アルカリ洗浄施設

アルミ前処理廃液

強アルカリ  
発生工程



**【取り組み】**  
 ・前処理液及びめっき液の持出しをしない様に取り組んでいます。  
 ・製品のめっき不要部分へのマスキング等の見直しをし、前処理液が溜まらない様に工夫をしています。

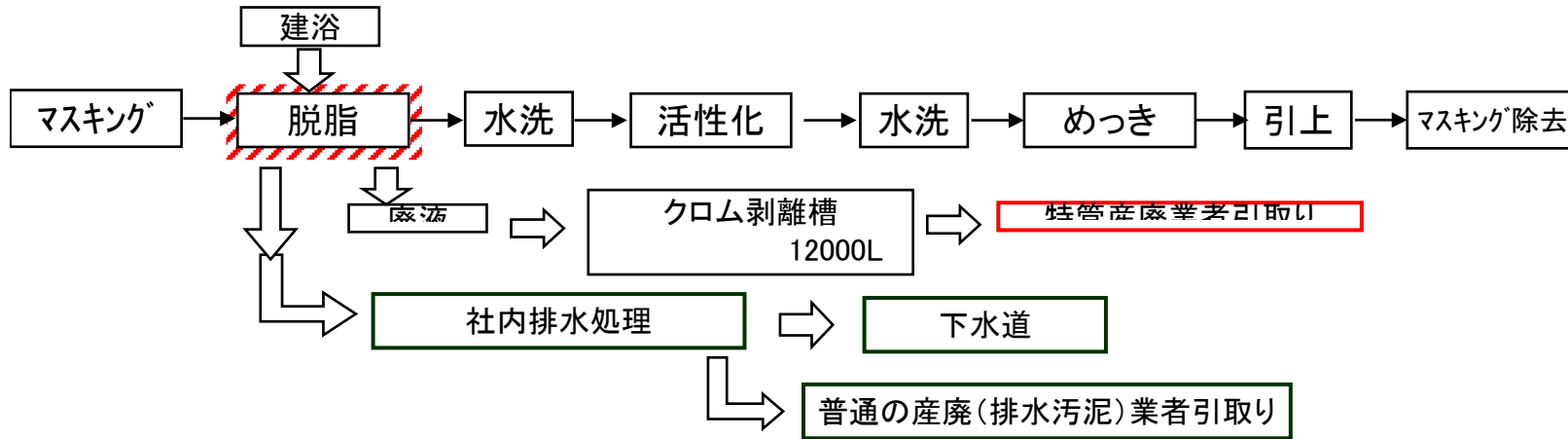
アルミ前処理廃液

No.	処理槽 名称	発生部署		廃棄発生量		月間平均発生量	処分内容		備考欄
							排水処理	業者委託	
2	アルミ脱脂液	600 L	2.0 年/回				0.003 t	t	
3	アルミエッチング液	600 L	2.0 年/回				0.002 t	0.62 t	
4	スマット除去液	600 L	2.0 年/回				0.002 t	t	
5	ジンケート液	610 L	2.0 年/回	470 L	0.48 t	0.2 t	0.002 t	0.46 t	
						計	0.009 t	1.08 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (5/10)

酸・アルカリ洗浄施設 (アルカリ洗浄施設)  
強アルカリ廃液

強アルカリ  
発生工程



アルカリ洗浄施設

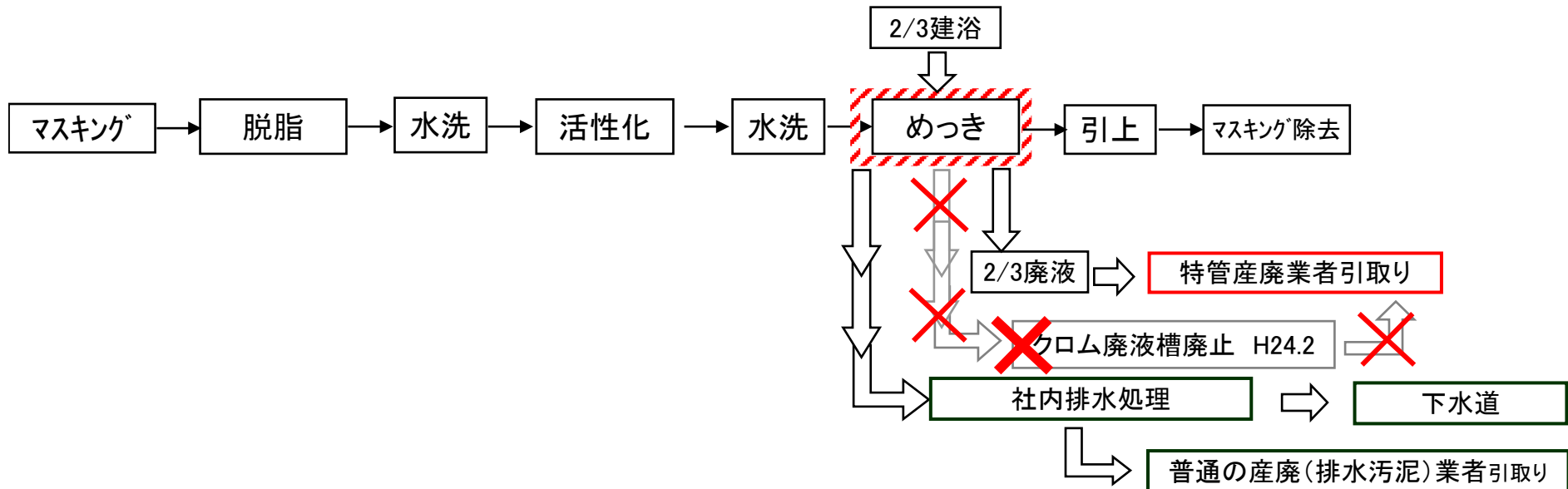
比重 1.08

No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均発生量	処分内容		備考欄
				L	t		排水処理	業者委託	
1	段ロール電解脱脂槽	L	年/回	L	t	t	t	t	
2	長ロール電解脱脂槽	7,780 L	2.0 年/回	3,890 L	4.2 t	2.1 t	0.06 t	t	*剥離槽へ剥離液として再利用
3	ワークロール電解脱脂槽	8,000 L	1.0 年/回	8,000 L	8.6 t	8.6 t	0.06 t	t	*剥離槽へ剥離液として再利用
4	ニッケル電解脱脂槽	L	年/回	L	t	t	0.06 t	t	*剥離槽へ剥離液として再利用
5	超音波超音波脱脂槽	3,200 L	0.4 年/回	8,000 L	4.0 t	10.0 t	10.02 t	t	*剥離槽へ剥離液として再利用
6	版胴電解脱脂槽	L	年/回	L	t	t	0.02 t	t	*剥離槽へ剥離液として再利用
7	燃料電池電解脱脂槽	L	年/回	L	t	t	0.02 t	t	*剥離槽へ剥離液として再利用
8	カーボン電解脱脂槽	L	年/回	L	t	t	0.01 t	t	キレート剤含有の為、再利用不可
9	ピロリン酸銅電解脱脂槽	1,400 L	3.0 年/回	467 L	0.5 t	0.2 t	0.01 t	0.61 t	キレート剤含有の為、再利用不可
10	無電解Ni電解脱脂槽	1,200 L	3.0 年/回	400 L	0.4 t	0.1 t	0.01 t	t	キレート剤含有の為、再利用不可
12	DNP電解脱脂槽	L	年/回	L	t	t	0.02 t	t	キレート剤含有の為、再利用不可
13	モルト浸漬脱脂	1,000 L	0.5 年/回	2,000 L	2.2 t	4.3 t	4.33 t	t	社内処理
14	クロム剥離	11,680 L	1.0 年/回	11,680 L	12.6 t	12.60 t	0.09 t	0.00 t	*他槽建浴時に他槽液再利用、その後委託処理
						計	14.7 t	0.61 t	*特別管理産業廃棄物処理業者

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (6/10)

めっき施設 (クロムめっき施設)  
 クロム老化液 (有害性廃酸)

クロム老化液(有害性廃酸)  
 発生工程



クロムめっき施設 比重 1.2

No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均発生量	処分内容		備考欄
				L	t		排水処理	業者委託	
1	1号 R62槽	8,700 L	3.5 年/回	L	7.0 t	t	0.17 t	7.68 t	*製造元へ再利用
2	2号 R63槽	7,600 L	3.5 年/回	L	6.1 t	t	0.15 t	t	
3	3号 3号槽	13,900 L	4.2 年/回	L	11.1 t	t	0.27 t	11.37 t	*製造元へ再利用
4	4号 4号槽	14,300 L	4.5 年/回	L	11.4 t	t	0.28 t	t	
5	5号 5号槽	8,570 L	3.5 年/回	L	6.9 t	t	0.17 t	t	
6	6号 6号槽	8,300 L	4.5 年/回	L	6.6 t	t	0.16 t	6.38 t	*製造元へ再利用
7	10号 DS・DR槽	3,500 L	4.5 年/回	L	2.8 t	t	0.07 t	t	
8	11号 CY-1号槽	14,000 L	4.0 年/回	L	11.4 t	t	0.28 t	t	
9	12号 CY-2号槽	11,200 L	4.5 年/回	L	9.0 t	t	0.22 t	10.72 t	*製造元へ再利用
10	13号 CY-3号槽	12,000 L	4.0 年/回	L	9.6 t	t	0.24 t	t	
11	14号 CY-4号槽	16,800 L	4.0 年/回	L	13.4 t	t	0.33 t	t	
12	15号 モールト槽	1,200 L	3.5 年/回	L	1.0 t	t	0.960 t	t	
13	その他 その他	6,300 L	2.0 回/年	L	2.6 t	5.2 t	0.00 t	t	
計							3.31 t	36.15 t	

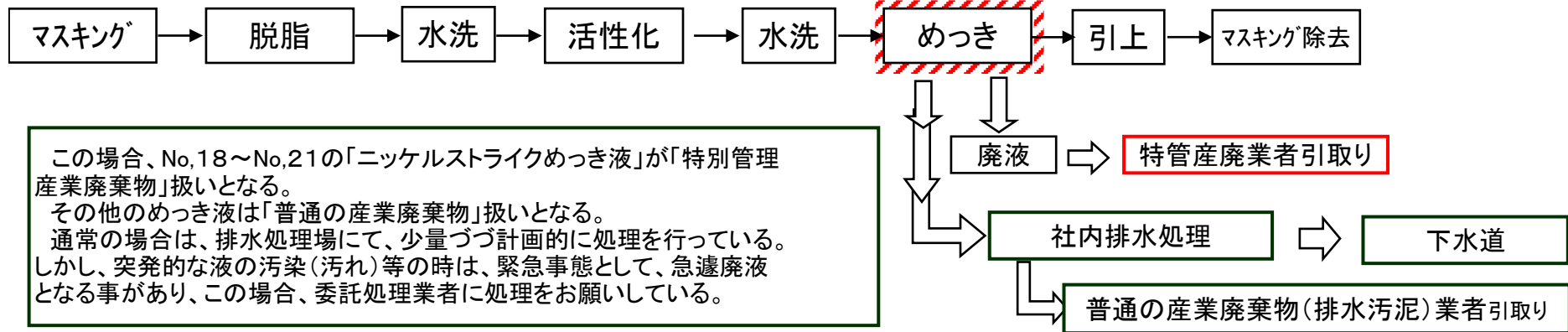


# 1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (7/10)

めっき施設 (銅めっき施設)(ニッケルめっき施設)

※該当廃液は『ニッケルストライクめっき液』と『硫酸銅めっき液』が強廃酸です。  
 その他は、普通の産業廃棄物(廃酸)です。

強廃酸 発生工程と  
普通の廃酸発生工程

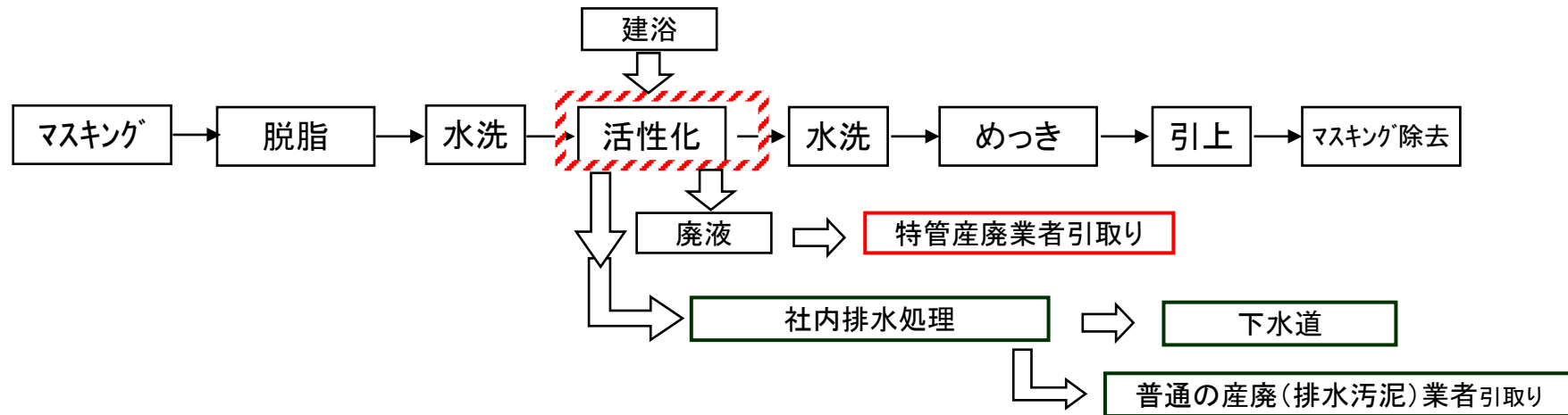


この場合、No.18~No.21の「ニッケルストライクめっき液」が「特別管理産業廃棄物」扱いとなる。  
 その他のめっき液は「普通の産業廃棄物」扱いとなる。  
 通常の場合は、排水処理場にて、少量づつ計画的に処理を行っている。  
 しかし、突発的な液の汚染(汚れ)等の時は、緊急事態として、急遽廃液となる事があり、この場合、委託処理業者に処理をお願いしている。

No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	比重		年間平均発生量	処分内容		備考欄		
				1.15	0.05		排水処理	業者委託			
1	ヒロライン	ピロリン酸銅めっき	3,200 L	7.0 年/回	3,200 L	3.7 t	0.5 t	1.9 t	t	普通の産業廃棄物 ※ニッケル、銅、コバルトの金属塩類は処理委託業者にて、回収リサイクル	
2	ヒロライン	ピロストライクめっき	1,400 L	7.0 年/回	1,400 L	1.6 t	0.2 t	0.1 t	t		
3	長ロール	硫酸ニッケルめっき	22,000 L	年/回				0.2 t	t		
4	彫刻	硫酸ニッケルめっき	2,700 L	年/回				0.2 t	t		
5	新聞	硫酸ニッケルめっき	900 L	年/回				0.1 t	t		
6	カニゼン	無電解ニッケルめ	1,800 L	0.5 年/回	1,800 L	2.1 t	4.6 t	0.1 t	t		
7	カーボン	スルファミン酸ニッケル	900 L	年/回				0.1 t	t		
8	Ni1	スルファミン酸ニッケル	7,710 L	月/回				0.4 t	t		
9	Ni2	スルファミン酸ニッケル	7,560 L	年/回				0.4 t	t		
10	TAP4	TAP 1めっき	6,960 L	12.0 年/回				0.6 t	t		
11	N1	コバルトめっき	8,830 L	年/回				0.8 t	t		
12	N2	コバルトめっき	7,640 L	年/回				0.8 t	t		
13	N3	コバルトめっき	7,640 L	年/回				0.8 t	t		
14	N4	コバルトめっき	8,260 L	年/回				0.8 t	t		
15	N5	コバルトめっき	7,650 L	年/回				0.8 t	t		
16	カーボン	硫酸銅めっき	1,200 L	年/回		1.4	t	0.2 t	10.20 t	特別管理産業廃棄物 H23年廃止	
17	新聞	硫酸銅めっき	1,600 L	年/回		1.8	t	0.2 t	5.60 t		
18	彫刻	硫酸銅めっき	1,200 L	年/回		1.4	t	0.2 t	1.14 t		
19	モルト	硫酸銅めっき	5,800 L	年/回		6.7	t	0.8 t	2.72 t		
20	ヒロライン	Niストライクめっき	1,400 L	年/回		1.6	t	0.2 t	t		
21	長ロール	Niストライクめっき	7,000 L	年/回				0.3 t	t		
22	モルト板	Niストライクめっき	3,180 L	年/回				1.2 t	4.26 t		
23	モルト組	Niストライクめっき	500 L	年/回				0.0 t	t		
一般産廃計								8.0 t	t		
特管産廃計								3.0 t	23.92 t		※*特別管理産業廃棄物処理業者

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (8/10)  
 酸・アルカリ洗浄施設 (酸洗浄施設) 『酸洗浄処理の別名:活性化処理』  
 強廃酸

強廃酸  
発生工程



酸 洗浄施設

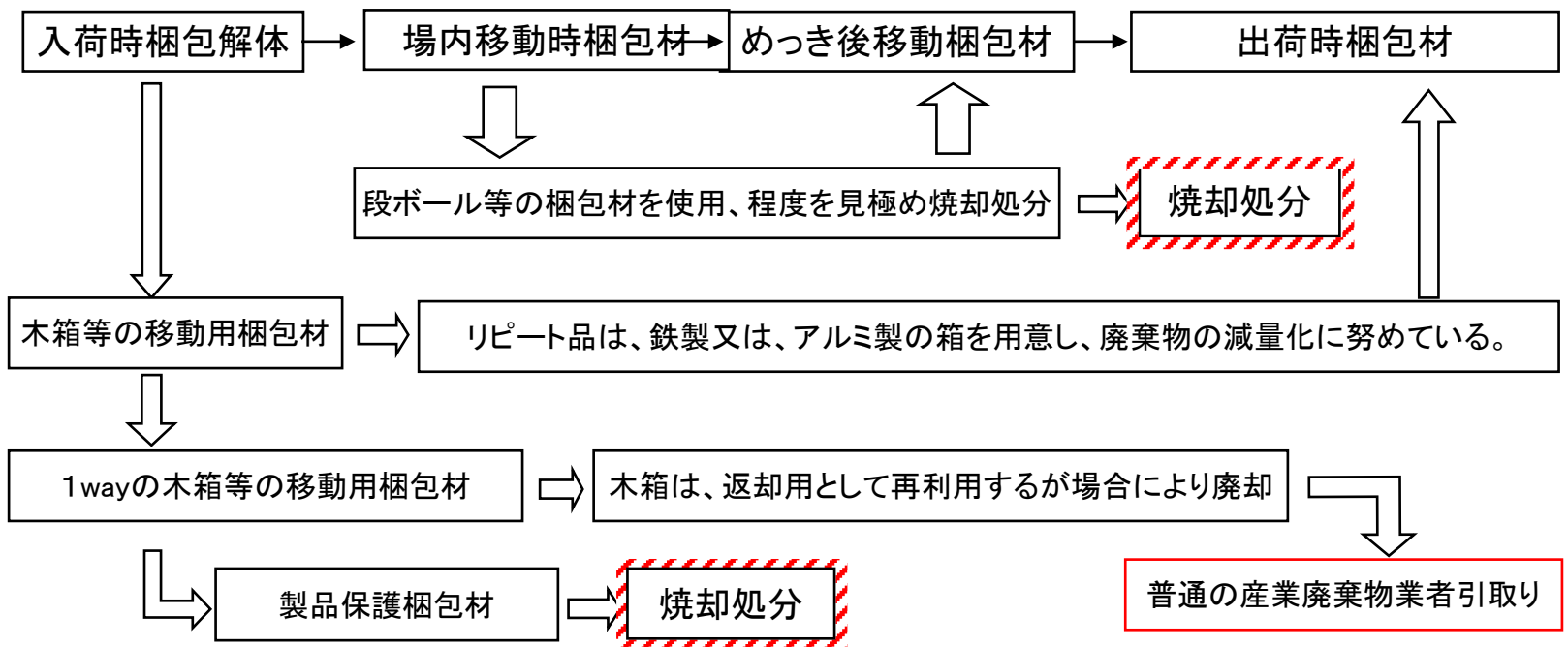
No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均 発生量	処分内容		備考欄
							排水処理	業者委託	
1	段ロール 硫酸電解槽	L	1.0 年/回	5,200 L	5.8 t	5.8 t	1.83 t	4.57 t	※特管として業者委託
2	ニッケル 硫酸電解槽	L	3.0 年/回	11,800 L	12.9 t	4.3 t	0.22 t	t	
3	CY 硫酸電解槽	L	5.0 年/回	3,500 L	3.8 t	0.8 t	0.06 t	t	
4	カーボン 硫酸電解槽	L	5.0 年/回	L	t	t	0.05 t	t	
5	自動ライン 硫酸電解槽							t	
6	モルト板 硫酸電解槽	L	5.0 年/回	L	t	t	0.33 t	0.0 t	
7	モルト組 硫酸電解槽	L	5.0 年/回	L	t	t	0.13 t	0.0 t	
8	モルト板 混酸槽	2,250 L	7.0 月/回	L	2.5 t	17.2 t	0.01 t	16.36 t	※特管として業者委託
9	モルト組 混酸槽			設備廃止			0.00 t	t	※特管として業者委託
10	モルト板 塩酸槽	2,300 L	1.5 年/回	2,300 L	2.5 t	1.7 t	0.00 t	2.30 t	
11	モルト組 塩酸槽			設備廃止			0.00 t	t	
12	ピロリン酸銅 塩酸槽	300 L	1.5 年/回	L	0.3 t	0.2 t	0.30 t	1.45 t	
9	ピロリン酸銅 混酸槽	L	8.0 年/回	0 L	0.0 t	0.0	0.10 t	5.38 t	※特管として業者委託
13	アルミライン 50%硝酸槽	L	1.0 年/回	L	1.0 t	1.0 t	0.01 t	4.01 t	※特管として業者委託
14	無電解Ni 30%硝酸槽			設備廃止			0.00 t	t	※特管として業者委託
16	その他 酸性廃酸	L	年/回	L	2.8 t	t	0.01 t	0.19 t	※特管として業者委託
17	その他 廃酸廃液	L	年/回	L	21.8 t	t	0.25 t	16.01 t	※特管として業者委託
						計	3.4 t	24.78 t	
18	逃し剥離 塩酸槽	220 L	4 回/年	880 L	0.96 t	0.24 t	0.12 t	t	※特管として業者委託

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (9/10)

燃え殻

※ 燃やす前のゴミの量は、約35～43t/年である。(H22年度)  
燃え殻は、回収時飛散防止のため、水を掛け回収している。含水率約70～80%

燃え殻



焼却するゴミの工程別 ゴミ発生量

No.	発生要因	発生部署	廃棄発生量	月平均 焼却量	処分内容		備考欄
					自社焼却	業者委託	
1	入荷時輸送用梱包材	輸送用木箱等	10.0 t	0.0 t	0.00 t	10.0 t	焼却せず、普通の廃棄物として業者委託
2	場内梱包材(段ボール等)	機械関連	4.5 t	0.4 t	0.60 t	0.60 t	
3	脱脂用ウエス(紙ウエス、布ウエス)		3.0 t	0.3 t	0.40 t	0.40 t	
4	製品乾燥用(紙ウエス)		1.5 t	0.1 t	0.20 t	0.20 t	
5	入荷時製品保護用梱包材		2.5 t	0.2 t	0.35 t	0.35 t	
6	場内梱包材(段ボール等)	めっき関連	6.0 t	0.5 t	0.60 t	0.60 t	
7	脱脂用ウエス(紙ウエス、布ウエス)		14.0 t	1.2 t	0.85 t	0.85 t	
	製品乾燥用(紙ウエス)		1.5 t	0.1 t	0.29 t	0.29 t	
8	入荷時製品保護用梱包材	その他	3.0 t	0.3 t	0.19 t	0.19 t	
9	その他		1.4 t	0.1 t	0.10 t	0.10 t	
				計	3.58	3.58	※特管として業者委託

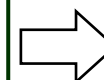
※焼却後の「燃え殻」は、回収時、防塵の為、水を散布、含水率約60%の物。

# 1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (10/10)

廃薬品類 廃塗料及び塗料希釈溶剤(引火性廃油、可燃性廃油)

廃薬品類

**【発生経緯】**  
 今回、会社組織変更に伴い、技術研究部門の部屋を整理しました。  
 その際、使用しない薬品類(腐食性廃酸腐食性廃アルカリ、  
 特定有害廃油、可燃性廃油等)が出てき、スポット的に処分することとなりました。



特管産廃業者引取り

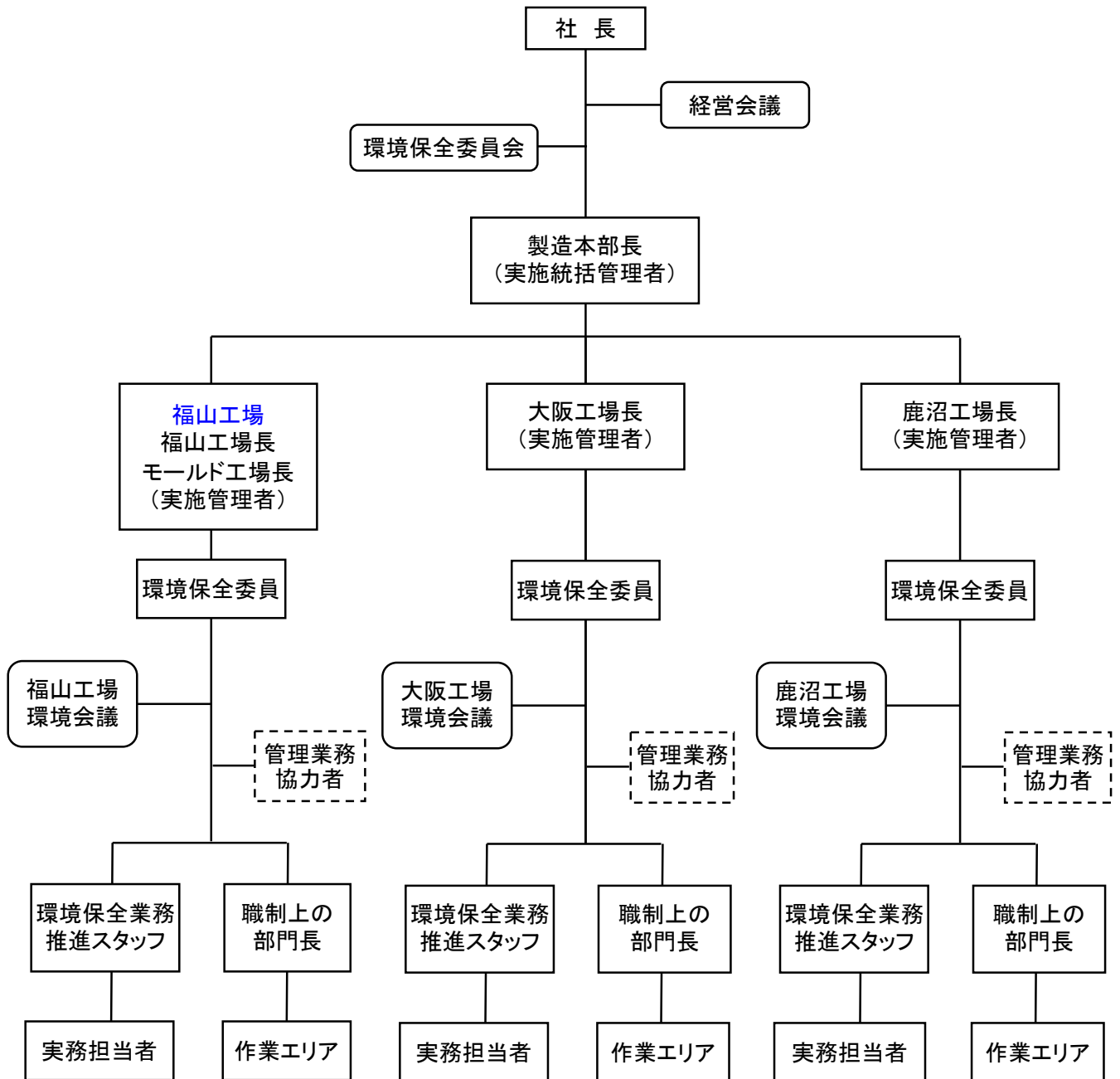
**【取り組み】**  
 スポット的な、薬品の処分です。  
  
 急遽、委託処理業者と野契約で、この薬品が処理出来るように、契約内容を変更した。

## 技術開発部門

No.	発生部署	廃薬品種類	廃棄物発生量	月間平均発生量	処分内容		備考欄
					排水処理	業者委託	
	技術開発部門	引火性廃油	0.000 t	0.00 t	0.0 t	0.000 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
		可燃性廃油	0.000 t	0.000 t	0.0 t	0.000 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
				計		0.000 t	

別紙2-1 特別管理産業廃棄物の処理に関わる体制に関する事項

管理体制図



環境保全業務推進スタッフ

- ①環境委員
- ②公害防止管理者
- ③特別管理産業廃棄物管理責任者
- ④有機溶剤作業主任者
- ⑤特定化学物質作業主任者
- ⑥TRPR担当者
- ⑦安全管理者(50人以上の事業所に適用される)
- ⑧衛生管理者(50人以上の事業所に適用される)
- ⑨安全衛生推進者(50人以下の事業所に適用される)
- ⑩作業環境測定担当者
- ⑪土壌汚染調査担当者

現状の福山工場の廃棄物処理に関する実務担当者は、  
(主)大本、(副)夏田、平田、堺本 となっています。

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(1/7)

①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	側溝汚泥		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	排水ピットスラリー		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	クロム酸鉛
	排出量	0 t			排出量	8.65 t			排出量	4.35 t	
	(これまで実施した取組) 製品の洗浄に研磨粉等を使用していたが、電解脱脂等を導入、汚泥の低減化に努めた。				(これまで実施した取組) 年2回の排水関連の集合枡(ピット)内の点検を年1回に変更。 保守点検を行った時に発生。 汚泥量に対して液量の方が数十倍多い。				(これまで実施した取組) めっき槽の点検、補修を行う為、半年周期の開け替え作業を行っている。 この時発生する沈殿物が「クロム酸鉛」です。 回収後、乾燥させ、軽減化を行っている。		
②計画	【目標】			②計画	【目標】			②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	側溝汚泥		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	排水ピットスラリー		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	クロム酸鉛
	排出量	1.0 t			排出量	8.5 t			排出量	4.0 t	
	(今後実施する取組) 得策は有りませんが、引き続き、汚泥の低減化に努めたい。 今年度は排出0tだが通年で1t程度発生見込み				(今後実施する取組) 地下浸透を防止する為、年2回の点検を1回に変更、実施計画があり、同等量の排出量が見込まれる。 汚泥量に対して液量の方が数十倍多い。				(今後実施する取組) 回収後の乾燥工程を行っていたが、人員削減のため、乾燥工程が出来なくなった。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①強廃酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、 ②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、 ③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液) ④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、 ⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。 ⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等 ⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラリー、クロム酸鉛 すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめっき施設、排水処理)単体から発生するため、分別には問題は生じない。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に有りません。

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(2/7)

	【前年度(平成29年度)実績】				【前年度(平成29年度)実績】				【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	排水汚泥		特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻(有害)	燃え殻		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	クロム老化液
①現状	排出量	59.18 t		①現状	排出量	3.58 t		①現状	排出量	36.15 t	
	(これまで実施した取組) 排水処理における、処理は正常であったが、汚泥の溶出試験で、クロムが溶出した為、業者受入検査では、確認されなかった。				(これまで実施した取組) 梱包に使用していた木箱等を、鉄製に改良し「鉄製の通い箱」とした。 年間12tの低減を図った。				(これまで実施した取組) クロム製造元の製造ラインへ戻し、再利用されている。		
	【目標】				【目標】				【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	排水汚泥		特別管理産業廃棄物の種類	燃え殻(有害)	燃え殻		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	クロム老化液
②計画	排出量	58 t		②計画	排出量	2.8 t		②計画	排出量	20 t	
	(今後実施する取組) 排水処理設備の維持管理と、排水上流側の作業指導を行ない、安定した排水処理を目指す。 安全サイドに考えて、特管扱いとする。				(今後実施する取組) 社内移動に使用の梱包材等を見直し、再利用を行い、低減化に努めたい。 また、燃え殻の回収方法を検討し、重さの軽減化を図る。				(今後実施する取組) 今年度も、液更新計画立込み、昨年より増加傾向となります。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①強廃酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、 ②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、 ③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液) ④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、 ⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。 ⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等 ⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラリー、クロム酸鉛 すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめつき施設)単体から発生するため、分別には問題は生じない。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に有りません。

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(3/7)

	【前年度(平成29年度)実績】				【前年度(平成29年度)実績】				【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	クロム剥し塩酸		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	混酸廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	塩酸廃液
①現状	排出量	0 t		①現状	排出量	21.74 t		①現状	排出量	3.75 t	
	(これまで実施した取組) めっき治具に析出した金属クロムを溶解し、治具の再利用を行っている。 剥離液の量を少なくし、排出量の低減を行っている。				(これまで実施した取組) めっき液中の金属ニッケルの増加による廃液は排水処理にて定量ポンプにより処理を行っていたが、排水処理の負荷が大きく業者委託を行った。				(これまで実施した取組) めっき液中の金属ニッケルの増加による廃液は排水処理にて定量ポンプにより処理を行っている		
②計画	【目標】			②計画	【目標】			②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	クロム剥し塩酸		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	混酸廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	塩酸廃液
	排出量	0.6 t			排出量	20 t			排出量	2.0 t	
	(今後実施する取組) 現状維持です。				(今後実施する取組) 早めの液更新で、金属濃度を低減化し、従来の様に排水処理にて処理を試みる。				(今後実施する取組) 現状維持で、排水処理にて定量ポンプにより処理を行っていきます。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①強廃酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、 ②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、 ③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液) ④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、 ⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。 ⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等 ⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラリー、クロム酸鉛 すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめっき施設)単体から発生するため、分別には問題は生じない。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に有りません。



別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(4/7)

①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	硫酸銅廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	40%硫酸廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	50%硝酸廃液
	排出量	5.44 t			排出量	4.57 t			排出量	4.01 t	
	(これまで実施した取組) 需要が最大となり、液更新が頻発したため、増加となった。				液更新の時期であった為、排出量が増えた。 受注量が増え、排出量が増えた。				(これまで実施した取組) 生産量との相関性が有り、液の寿命が生じた液更新をおこなった。 排水のトータル窒素の関連で、極力回収を行い特別管理産業廃棄物として委託処理を行ってきた		
②計画	【目標】			②計画	【目標】			②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	硫酸銅廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	40%硫酸廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	50%硝酸廃液
	排出量	40.00 t			排出量	4.0 t			排出量	5.0 t	
	(今後実施する取組) 今年度は、新設備稼働で試験用廃液が追加発生が見込み廃液となる予定。				(今後実施する取組) 原料維持				(今後実施する取組) 昨年度液更新を行なったため本年度は、更新無しで、発生しなかった。 高濃度の硝酸廃液は、従来とおり業者委託とし処理槽洗浄水は、排水処理にて処理を行う。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①強廃酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、</li> <li>②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、</li> <li>③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液)</li> <li>④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、</li> <li>⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。</li> <li>⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等</li> <li>⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラー、クロム酸鉛</li> </ul> <p>すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめつき施設)単体から発生するため、分別には問題は生じない。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>特に有りません。</p>

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(5/7)

①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	ニッケルストライク廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	酸性廃酸		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	クロム酸
	排出量	4.26 t			排出量	11.53 t			排出量	0 t	
	(これまで実施した取組) めっき液中の金属ニッケルの増加による廃液は排水処理にて定量ポンプにより処理を行っている				(これまで実施した取組) 廃酸の混在した廃液で、排水処理で処理できない廃液です。 今回は、めっき設備の廃止により混在した廃液が発生した為、スポット的に業者委託を行った。				(これまで実施した取組) めっき槽周囲のピットで、床は乾燥していたが、長年にわたり蓄積したクロム酸を水洗洗浄した。清掃後床は、乾燥状態である。		
②計画	【目標】			②計画	【目標】			②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	ニッケルストライク廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	酸性廃酸		特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	クロム酸
	排出量	4.0 t			排出量	10.0 t			排出量	0.0 t	
	(今後実施する取組) 現状維持で、排水処理にて定量ポンプにより処理を行っていきます。				(今後実施する取組) 混在しない回収方法をルール化し、削減して行きます。				(今後実施する取組) 順次ピット内の洗浄を予定している。 一応の洗浄は終了した。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①強廃酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、</li> <li>②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、</li> <li>③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液)</li> <li>④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、</li> <li>⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。</li> <li>⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等</li> <li>⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラリー、クロム酸鉛</li> </ul> <p>すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめっき施設)単体から発生するため、分別には問題は生じない。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>特に有りません。</p>

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(6/7)

①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】			①現状	【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃アルカリ	クロムめっき剥し液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	ジンケート廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	電解脱脂液QC2
	排出量	0 t			排出量	0.46 t			排出量	0.61 t	
	(これまで実施した取組) 劣化した電解脱脂液を再利用して、クロムめっきを剥離している。 クロム濃度が高濃度になる為、排水処理不可。				(これまで実施した取組) 生産量との相関性が有り、液の寿命が生じた液更新を行なった。				(これまで実施した取組) ラインの見直しを行い、第替え品を探した。 よって、廃棄物がなくなった。		
②計画	【目標】			②計画	【目標】			②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃アルカリ	クロムめっき剥し液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	ジンケート廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	電解脱脂液QC2
	排出量	10 t			排出量	0.8 t			排出量	0.6 t	
	(今後実施する取組) 今までは、クロム剥し液の更新は、全量更新していたが、部分更新を行い、減量化に努めたい。				(今後実施する取組) 現状維持				(今後実施する取組) ラインの見直しを行い、第替え品を探した。 よって、廃棄物がなくなった。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①強酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、</li> <li>②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、</li> <li>③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液)</li> <li>④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、</li> <li>⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。</li> <li>⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等</li> <li>⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラリー、クロム酸鉛</li> </ul> <p>すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめっき施設)単体から発生するため、分別には問題は生じない。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>特に有りません。</p>

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(7/7)

	【前年度(平成29年度)実績】				【前年度(平成29年度)実績】				【前年度(平成29年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	アルソフト廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	アルミ溶解アルカリ廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	アルカリ廃液
①現状	排出量	0.62 t		①現状	排出量	0.22 t		①現状	排出量	5.4 t	
	(これまで実施した取組) 生産量との相関性が有り、液の寿命が生じた液更新をおこなった。				(これまで実施した取組) スポット的廃液です。				(これまで実施した取組) 生産量との相関性が有り、液の寿命が生じた液更新をおこなった。		
	【目標】				【目標】				【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	アルソフト廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	アルミ溶解アルカリ廃液		特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃アルカリ	アルカリ廃液
②計画	排出量	1.00 t		②計画	排出量	0.00 t		②計画	排出量	5.00 t	
	(今後実施する取組) 昨年同様の見込みである。				(今後実施する取組) 見込みなし。				(今後実施する取組) 昨年同様の見込みである。		

別紙2-2 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>①強酸(pH2.0以下) : 硫酸廃液、塩酸廃液、</p> <p>②強アルカリ廃液(pH12.5以上) : 電解脱脂廃液、アルミ前処理廃液、ジンケート廃液、</p> <p>③強アルカリ(有害) : クロム剥し液(クロム溶解強アルカリ廃液)</p> <p>④強酸(有害) : クロム老化液、クロム混入塩酸廃液、クロム混入硫酸廃液、</p> <p>⑤燃え殻 : 社内搬送時の製品保護のために使用する、段ボール紙等や、製品入荷時の梱包材、製品を拭き取ったウエス類がほとんどです。</p> <p>⑥引火性廃油 : 塗料及び塗料薄め液、廃シンナー等</p> <p>⑦汚泥(有害) : 側溝汚泥、排水ピットスラリー、クロム酸鉛</p> <p>すべて、各施設(酸洗浄施設であったり、アルカリ洗浄施設、クロムめつき施設)単体から発生するため、分別には問題は生じない。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>特に有りません。</p>





別紙4-2 特別管理産業廃棄物の処理委託に関する事項 (1/4)

【前年度(平成29年度)実績】							
特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	特定有害汚泥	特定有害汚泥	特定有害汚泥	燃え殻(有害)	特定有害廃酸	
	側溝汚泥	排水ピットスラリー	クロム酸鉛	排水汚泥	燃え殻	クロム老化液	
①現状	全処理委託量	0 t	8.65 t	4.35 t	59.18 t	3.58 t	36.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	8.65 t	4.35 t	59.18 t	3.58 t	0 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	36.15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
委託先の廃棄物委託業者は、優良認定業者です。							
【目標】							
特別管理産業廃棄物の種類	特定有害汚泥	特定有害汚泥	特定有害汚泥	特定有害汚泥	燃え殻(有害)	特定有害廃酸	
	側溝汚泥	排水ピットスラリー	クロム酸鉛	排水汚泥	燃え殻	クロム老化液	
②計画	全処理委託量	1 t	8.5 t	4 t	58 t	2.8 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	8.5 t	4 t	58 t	2.8 t	0 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
委託先の廃棄物委託業者は、優良認定業者です。							

別紙4-2 特別管理産業廃棄物の処理委託に関する事項 (2/4)

		【前年度(平成29年度)実績】					
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸
		クロム剥し塩酸	混酸廃液	塩酸廃液	硫酸銅廃液	40%硫酸廃液	50%硝酸廃液
	全処理委託量	0 t	21.74 t	3.75 t	5.44 t	4.57 t	4.01 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	21.74 t	3.75 t	5.44 t	4.57 t	4.01 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
委託先の廃棄物委託業者は、優良認定業者です。							
		【目標】					
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸	腐食性廃酸
		クロム剥し塩酸	混酸廃液	塩酸廃液	硫酸銅廃液	40%硫酸廃液	50%硝酸廃液
	全処理委託量	0.6 t	20 t	2 t	40 t	4 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.6 t	20 t	2 t	40 t	4 t	5 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
委託先の廃棄物委託業者は、優良認定業者です。							



別紙4-2 特別管理産業廃棄物の処理委託に関する事項 (3/4)

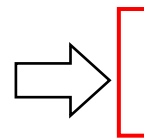
【前年度(平成29年度)実績】							
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	ニッケルストライク廃液	腐食性廃酸	特定有害廃酸	特定有害アルカリ	腐食性アルカリ	腐食性アルカリ
		4.26 t	酸性廃酸	クロム酸廃液	クロム剥し廃液	ジンケート廃液	電解脱脂QC2
	全処理委託量	4.26 t	11.53 t	0 t	0 t	0.46 t	0.61 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	11.53 t	0 t	0 t	0.46 t	0.61 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
委託先の廃棄物委託業者は、優良認定業者です。							
【目標】							
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	腐食性廃酸	腐食性廃酸	特定有害廃酸	特定有害アルカリ	腐食性アルカリ	腐食性アルカリ
		ニッケルストライク廃液	酸性廃酸	クロム酸廃液	クロム剥し廃液	ジンケート廃液	電解脱脂QC2
	全処理委託量	4 t	10 t	0 t	10 t	0.8 t	0.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4 t	10 t	0 t	10 t	0.8 t	0.6 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

別紙4-2 特別管理産業廃棄物の処理委託に関する事項 (4/4)

【前年度(平成29年度)実績】						
特別管理産業廃棄物の種類	腐食性アルカリ	腐食性アルカリ	腐食性アルカリ			
	アルソフト廃液	アルカリ廃液	アルミ溶解廃液			
①現状	全処理委託量	0.62 t	5.4 t	0.22 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.62 t	5.4 t	0.22 t	0 t	0 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
委託先の廃棄物委託業者は、優良認定業者です。						
【目標】						
特別管理産業廃棄物の種類	腐食性アルカリ	腐食性アルカリ	腐食性アルカリ			
	アルソフト廃液	アルカリ廃液	アルミ溶解廃液			
②計画	全処理委託量	1 t	5 t	0 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	5 t	0 t	0 t	0 t
	再利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収業者以外への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (1/10)  
側溝汚泥(特定有害汚泥)

クロムめっき施設のある作業場の排水回収の為の側溝に溜まった汚泥を回収したもの。



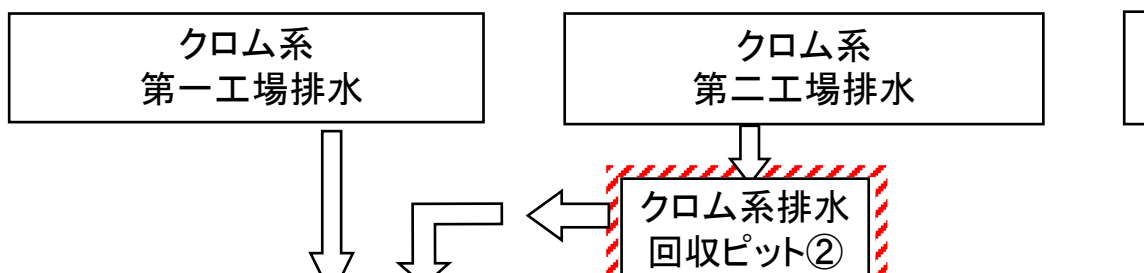
【取り組み】  
クロムめっき作業場内の側溝から回収した汚泥、主に「脱脂工程で使用する「磨き粉等」を回収する。  
この汚泥は、回収後上澄み液を除去し、更に場内にて自然乾燥で、含水率60%程度まで乾燥させている。

クロムめっき施設

No.	発生部署	廃棄物発生量	月間平均発生量	処分
				排水処理
	福山工場 第一製造課	0.00 t	0.00 t	0.0 t
	福山工場 第二製造課	0.00 t	0.00 t	0.0 t
	モールド工場	0.00 t	0.00 t	0.0 t
			計	

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (2/10)  
排水処理施設

排水ピットスラリー





【取り組み】

年2回、排水用回収ピットの点検、修理等を行い、クロム及び重金属類の地下浸透防止を行っている。

排水用の回収ピットは、クロム系に2箇所、酸アルカリ系に1箇所の合計3ヶ所ありここに溜まった汚水及び沈殿物(汚泥)の回収物が「排水ピットスラリー」である。

クロムめっき施設

No.	系統	発生場所	廃棄発生量	月間平均発生量	処分
					社内焼却
1	クロム系排水ピット①	第一製造課	7.53 t	1.26 t	0.00 t
2					
3					
4					
9	クロム系排水ピット②	第二製造課	1.60 t	0.27 t	0.00 t
10					
11					
12					
14	酸アルカリ系排水ピット	モールド工場	3.91 t	0.65 t	0.00 t
			13.0	計	0.00 t

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (3/10)  
クロム酸鉛(特定有害汚泥)

クロムめっき施設のめっき槽点検、修理等で発生する「有害汚泥」で、主にクロム酸鉛です。

【取り組み】

めっき槽からの液漏れ等の事故防止のため、年2回、めっき液を開け替え槽に移して、めっき槽のライニングの点検修理を行っている。

この時、めっき槽の清掃を行う際に、底に溜まった汚泥、主に「クロム酸鉛等」を回収する。クロムめっき槽沈殿物は、仕事量の増減により変動する。

この汚泥は、回収後上澄み液を除去し、更に場内にて自然乾燥で、含水率60%程度まで乾燥させている。

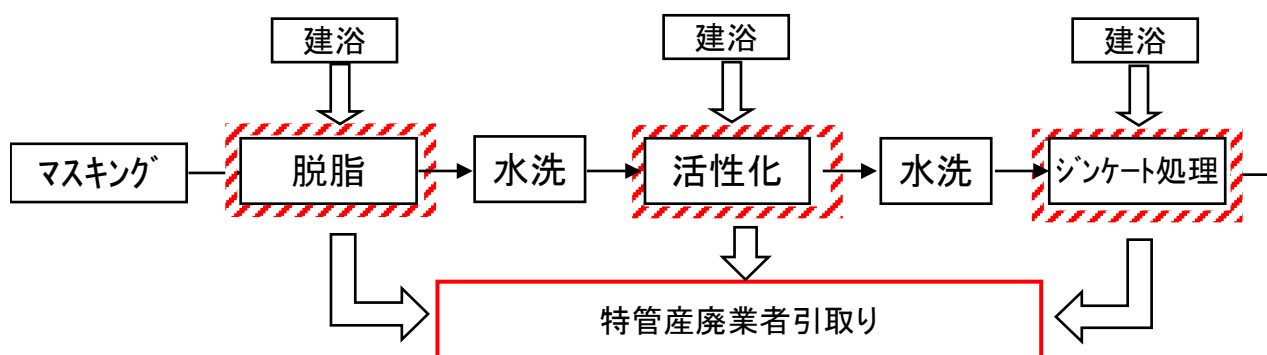
クロムめっき施設

No.	処理槽 名称	めっき槽容量	開け替え頻度	廃棄物発生量	月間平均発生量	処分
						排水処理

1	1号	R62槽	8,700 L	2.0 回/年	1.89 t	0.16 t	0.0 t	
2	2号	R63槽	7,600 L	2.0 回/年				
3	3号	3号槽	13,900 L	2.0 回/年				
4	4号	4号槽	15,560 L	2.0 回/年				
5	5号	5号槽	8,570 L	2.0 回/年				
6	6号	6号槽	8,000 L	2.0 回/年				
7	7号	7号槽	4,700 L	2.0 回/年				
8	10号	DS・DR槽	3,500 L	2.0 回/年				
9	8号	自動ライン	15,600 L	2.0 回/年	0.74 t	0.06 t	0.0 t	
10	11号	CY-1号槽	14,000 L	2.0 回/年				
11	12号	CY-2号槽	11,200 L	2.0 回/年				
12	13号	CY-3号槽	12,000 L	2.0 回/年				
13	14号	CY-4号槽	16,800 L	2.0 回/年	0.000 t	0.0000 t	0.0 t	
14	15号	モールド槽	1,200 L	2.0 回/年				
							計	

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (4/10)  
酸アルカリ洗浄施設

アルミ前処理廃液



【取り組み】

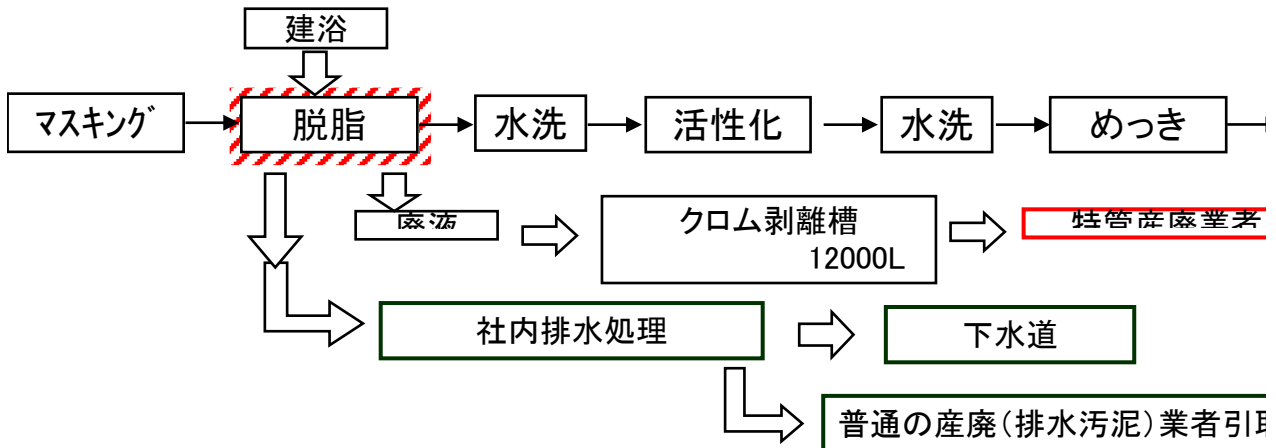
- ・前処理液及びめっき液の持出しをしない様に取り組んでいます。
- ・製品のめっき不要部分へのマスクング等の見直しをし、前処理液が溜まらない様に工夫をしています。

アルミ前処理廃液

No.	処理槽 名称	発生部署	廃棄発生量	月間平均発生量	処分		
						排水処理	
2	アルミ脱脂液	600 L	2.0 年/回			0.003 t	
3	アルミエッチング液	600 L	2.0 年/回			0.002 t	
4	スマット除去液	600 L	2.0 年/回			0.002 t	
5	ジンケート液	610 L	2.0 年/回	470 L	0.48 t	0.2 t	
						計	0.009 t

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (5/10)

酸・アルカリ洗浄施設 (アルカリ洗浄施設)  
強アルカリ廃液



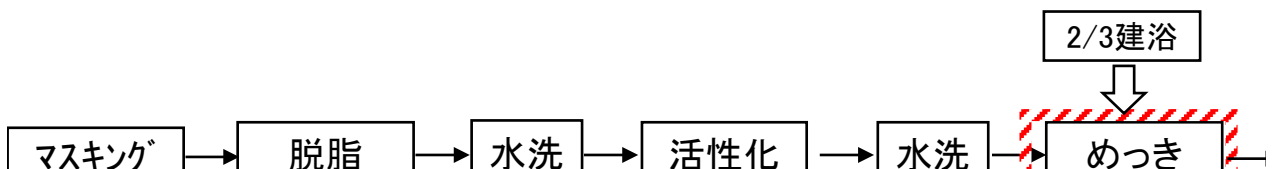
アルカリ洗浄施設

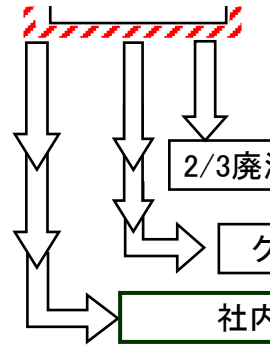
比重 1.08

No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均発生量	処分
				L	t		排水処理
1	段ロール電解脱脂槽	L	2.0年/回	L	3.0 t	t	t
2	長ロール電解脱脂槽	L	2.0年/回	L	8.4 t	t	t
3	ワークロール電解脱脂槽	L	2.0年/回	L	17.3 t	8.6 t	0.06 t
4	ニッケル電解脱脂槽	L	2.0年/回	L	8.0 t	t	t
5	超音波超音波脱脂槽	3,200 L	0.5年/回	3,200 L	4.0 t	8.0 t	8.02 t
6	版胴電解脱脂槽	2,500 L	2.0年/回	2,500 L	2.7 t	t	0.02 t
7	自動ライン電解脱脂槽	2,000 L	3.0年/回	2,000 L	2.2 t	t	0.02 t
8	カーボン電解脱脂槽	900 L	3.0年/回	900 L	1.0 t	0.3 t	0.01 t
9	ピロリン酸銅電解脱脂槽	1,400 L	3.0年/回	1,400 L	1.5 t	t	0.01 t
10	カニセン電解脱脂槽	1,200 L	3.0年/回	1,200 L	1.3 t	0.4 t	0.01 t
12	DNP電解脱脂槽	2,700 L	2.5年/回	2,700 L	2.9 t	t	0.02 t
13	モルト浸漬脱脂	1,000 L	0.5年/回	1,000 L	1.1 t	t	2.17 t
14	クロム剥離	11,680 L	1.0年/回	11,680 L	12.6 t	12.60 t	0.09 t
計							10.6 t

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (6/10)

めっき施設 (クロムめっき施設)  
クロム老化液 (有害性廃酸)





クロムめっき施設

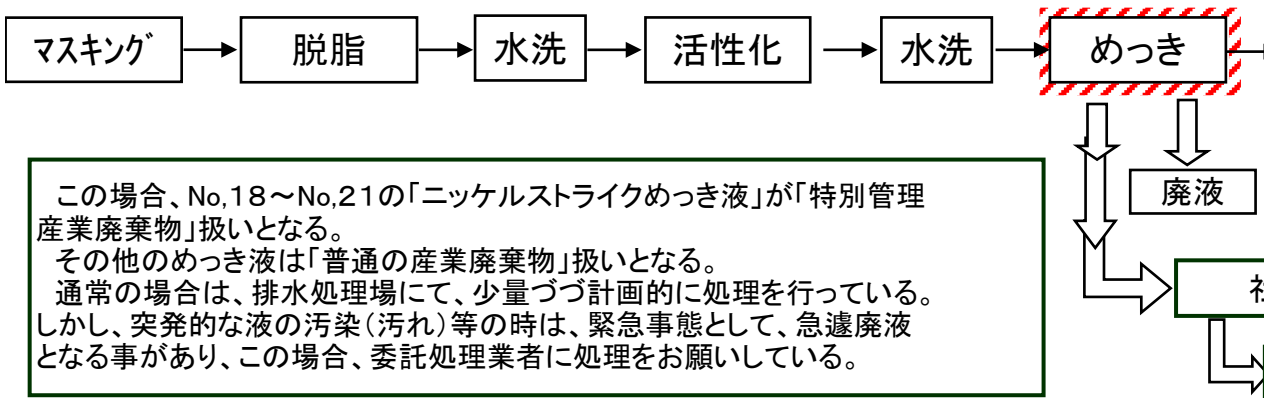
比重 1.2

No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均発生量	処分
							排水処理
1	1号 R62槽	8,700 L	3.5 年/回	5,800 L	7.0 t	2.0 t	0.15 t
2	2号 R63槽	7,600 L	3.5 年/回	5,067 L	6.1 t	1.7 t	0.13 t
3	3号 3号槽	13,900 L	4.2 年/回	9,267 L	11.1 t	t	0.24 t
4	4号 4号槽	15,560 L	4.5 年/回	10,373 L	12.4 t	t	0.26 t
5	5号 5号槽	8,570 L	3.5 年/回	5,713 L	6.9 t	t	0.15 t
6	6号 6号槽	8,000 L	0.5 年/回	5,333 L	6.4 t	25.6 t	0.14 t
7	7号 7号槽	4,700 L	4.5 年/回	4,700 L	5.6 t	1.3 t	0.08 t
8	10号 DS・DR槽	3,500 L	4.5 年/回	2,333 L	2.8 t	0.6 t	0.06 t
9	8号 自動ライン	15,600 L	4.5 月/回	10,400 L	12.5 t	t	0.26 t
10	11号 CY-1号槽	14,000 L	4.0 年/回	9,515 L	11.4 t	2.9 t	0.24 t
11	12号 CY-2号槽	11,200 L	4.0 年/回	7,467 L	9.0 t	t	0.19 t
12	13号 CY-3号槽	12,000 L	4.0 年/回	8,000 L	9.6 t	t	0.20 t
13	14号 CY-4号槽	16,800 L	4.0 年/回	11,200 L	13.4 t	t	0.28 t
14	15号 モールド槽	1,200 L	3.5 年/回	800 L	1.0 t	t	0.020 t
15	廃液槽 クロム廃液槽	6,300 L	2.0 回/年	6,300 L	8.4 t	16.8 t	0.00 t
計							2.39 t

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (7/10)

めっき施設 (銅めっき施設) (ニッケルめっき施設)

※該当廃液は『ニッケルストライクめっき液』と『硫酸銅めっき液』が強廃酸です。その他は、普通の産業廃棄物(廃酸)です。



銅めっき施設、ニッケルめっき施設

比重 1.15

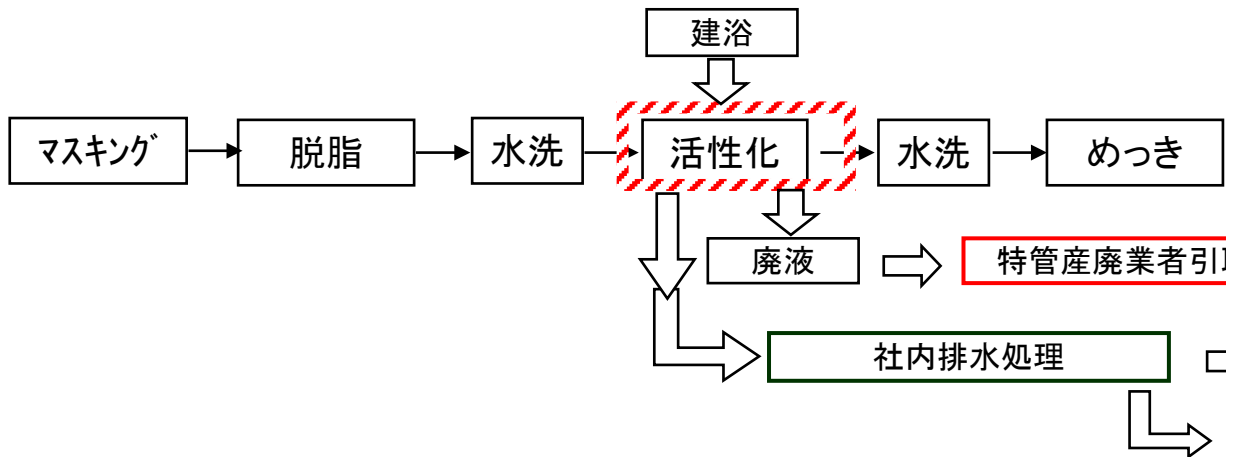
0.05

No.	処理槽 名称	液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均発生量	処分
							排水処理
1	ヒロライン ヒロリン酸銅めっき	3,200 L	7.0 年/回	3,200 L	3.7 t	0.5 t	1.9 t
2	ヒロライン ヒロストライクめっき	1,400 L	7.0 年/回	1,400 L	1.6 t	0.2 t	0.1 t

3	長ロール	硫酸ニッケルめっき	22,000 L	年/回		t	t	0.2 t	
4	彫刻	硫酸ニッケルめっき	2,700 L	年/回				0.2 t	
5	新聞	硫酸ニッケルめっき	900 L	年/回				0.1 t	
6	カニセン	無電解ニッケルめっき	1,800 L	0.5年/回	1,800 L	2.1 t	4.6 t	0.1 t	
7	カーボン	スルファミン酸ニッケル	900 L	年/回			t	0.1 t	
8	Ni1	スルファミン酸ニッケル	7,710 L	月/回			t	0.4 t	
9	Ni2	スルファミン酸ニッケル	7,560 L	年/回			t	0.4 t	
10	TAP4	TAP 1めっき	6,960 L	12.0年/回			t	0.6 t	
11	N1	コバルトめっき	8,830 L	年/回			t	0.8 t	
12	N2	コバルトめっき	7,640 L	年/回			t	0.8 t	
13	N3	コバルトめっき	7,640 L	年/回			t	0.8 t	
14	N4	コバルトめっき	8,260 L	年/回			t	0.8 t	
15	N5	コバルトめっき	7,650 L	年/回			t	0.8 t	
16	カーボン	硫酸銅めっき	4,000 L	年/回			t	0.5 t	
17	新聞	硫酸銅めっき	2,000 L	年/回			t	0.3 t	
18	彫刻	硫酸銅めっき	2,700 L	年/回			t	0.4 t	
19	モールド	硫酸銅めっき	7,560 L	年/回			t	1.0 t	
20	ヒロライン	Niストライクめっき	1,400 L	年/回			t	0.2 t	
21	長ロール	Niストライクめっき	7,000 L	年/回			t	0.0 t	
22	モールド板	Niストライクめっき	3,180 L	年/回			t	0.4 t	
23	モールド組	Niストライクめっき	500 L	年/回			t	0.1 t	
								一般産廃計	8.0 t
								特管産廃計	2.8 t

### 1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (8/10)

酸・アルカリ洗浄施設 (酸洗浄施設) 『酸洗浄処理の別名:活性化処理』  
 強廃酸



### 酸 洗浄施設

No.	処理槽 名称		液量	更新頻度	廃棄発生量		年間平均発生量	処分
								排水処理
1	段ロール	硫酸電解槽	L	1.0年/回	5,200 L	5.8 t	5.8 t	1.83 t
2	ニッケル	硫酸電解槽	L	3.0年/回	L	t	t	0.23 t
3	CY	硫酸電解槽	L	5.0年/回	L	t	t	0.07 t
4	カーボン	硫酸電解槽	L	5.0年/回	L	t	t	0.05 t
5	自動ライン	硫酸電解槽	L	3.0年/回	L	t	t	0.04 t
6	モールド板	硫酸電解槽	L	5.0年/回	L	t	t	0.34 t
7	モールド組	硫酸電解槽	L	5.0年/回	L	t	t	0.14 t
8	モールド板	混酸槽	L	8.0月/回	L	2.5 t	19.6 t	0.01 t
9	モールド組	混酸槽	L	1.5年/回	L	t	t	0.01 t
10	モールド板	塩酸槽	L	1.5年/回	L	t	t	2.50 t
11	モールド組	塩酸槽	L	1.5年/回	L	t	t	1.00 t
12	ヒロリン酸銅	塩酸槽	L	2.0年/回	L	1.5 t	t	0.30 t
13	アルミライン	50%硝酸槽	L	1.0年/回	L	1.0 t	1.0 t	0.01 t
14	無電解Ni	30%硝酸槽	L	2.0年/回	L	1.7 t	0.8 t	0.01 t



16	その他	酸性廃酸	L	年/回	L	2.8 t	t	0.01 t
17	その他	廃酸廃液	L	年/回	L	21.8 t	t	0.25 t
							計	6.9 t

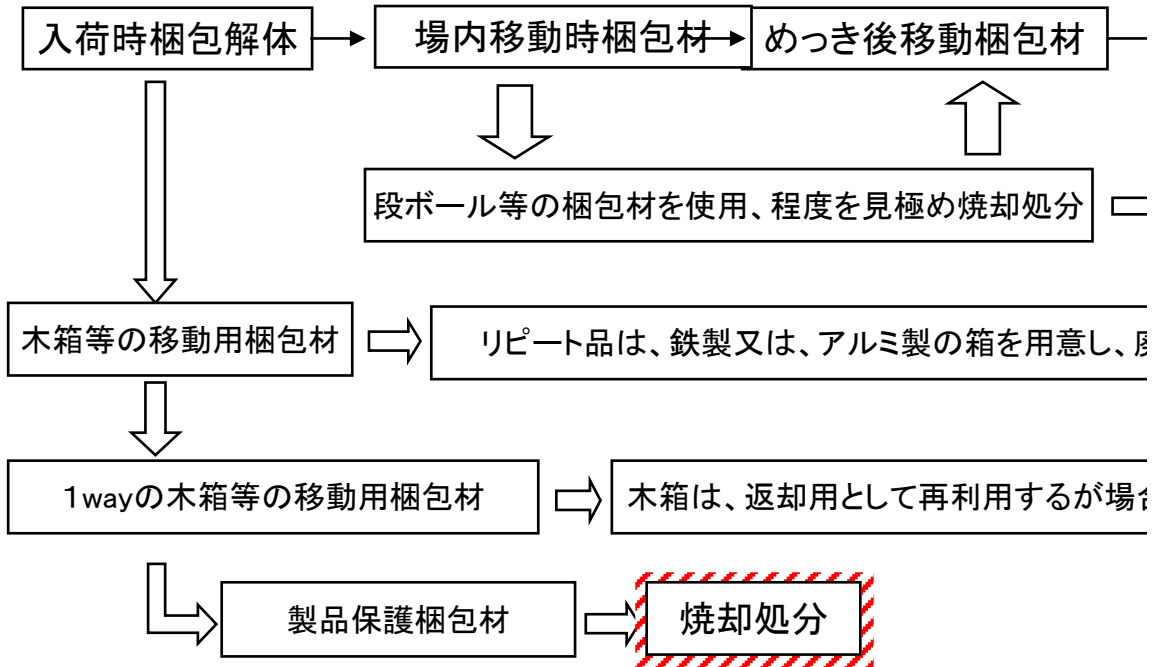
18	逃し剥離	塩酸槽	220 L	4 回/年	880 L	0.96 t	0.24 t	0.12 t
----	------	-----	-------	-------	-------	--------	--------	--------

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (9/10)

燃え殻

※ 燃やす前のゴミの量は、約35~43t/年である。(H22年度)

燃え殻は、回収時飛散防止のため、水を掛け回収している。含水率約70~80%



焼却するゴミの工程別 ゴミ発生量

No.	発生要因	発生部署	廃棄発生量	月平均 焼却量	処分	
					自社焼却	
1	入荷時輸送用梱包材	輸送用木箱等	10.0 t	0.0 t	0.00 t	
2	場内梱包材(段ボール等)	機械関連	4.5 t	0.4 t	0.46 t	
3	脱脂用ウエス(紙ウエス、布ウエス)		3.0 t	0.3 t	0.31 t	
4	製品乾燥用(紙ウエス)		1.5 t	0.1 t	0.15 t	
5	入荷時製品保護用梱包材		2.5 t	0.2 t	0.26 t	
6	場内梱包材(段ボール等)	めっき関連	6.0 t	0.5 t	2.46 t	
7	脱脂用ウエス(紙ウエス、布ウエス)		14.0 t	1.2 t	1.43 t	
	製品乾燥用(紙ウエス)		1.5 t	0.1 t	0.15 t	
8	入荷時製品保護用梱包材		3.0 t	0.3 t	0.31 t	
9	その他	その他	1.4 t	0.1 t	0.14 t	
					計	5.67

※焼却後の「燃え殻」は、回収時、防塵の為、水を散布、含水率約60%の物。

1-④特別管理産業廃棄物の一連の処理工程 (10/10)

廃薬品類 廃塗料及び塗料希釈溶剤(引火性廃油、可燃性廃油)

【発生経緯】

今回、会社組織変更に伴い、技術研究部門の部屋を整理しました。  
その際、使用した、薬品類/廃酸性廃酸/廃アルカリ

ての際、使用しない薬品類(廃長は廃酸、廃長は廃アルカリ、  
 特定有害廃油、可燃性廃油等)が出てき、スポット的に処分することとなりました。

【取り組み】

スポット的な、薬品の処分です。

急遽、委託処理業者と野契約で、この薬品が処理出来るように、契約内容を変更した。

技術開発部門

No.	発生部署	廃薬品種類	廃棄物発生量	月間平均発生量	処分
					排水処理
	技術開発部門	引火性廃油	0.000 t	0.00 t	0.0 t
		可燃性廃油	0.000 t	0.000 t	0.0 t
				計	





特定有害汚泥  
発生工程

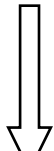
特管産廃業者引取り



内容	備考欄
業者委託	
0.00 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
0.00 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
0.00 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
0.00 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

特定有害汚泥  
発生工程

酸アルカリ系  
モールド工場排水



Y  
 クロム系排水  
 回収ピット③

3ピットまとめて  
 特管産廃業者引取り

内容	備考欄
業者委託	
15.07 t	年2回 5月連休と年末
3.20 t	年2回 5月連休と年末
7.82 t	年2回 5月連休と年末
26.09 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

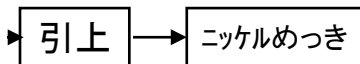
特定有害汚泥  
 発生工程

特管産廃業者引取り

内容	備考欄
業者委託	

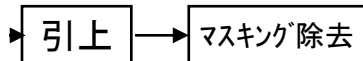
1.89 t	※特管として業者委託
0.74 t	※特管として業者委託
0.00 t	※特管として業者委託
2.63 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

強アルカリ  
発生工程



内容	備考欄
業者委託	
t	
t	
t	
0.480 t	
0.480 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

強アルカリ  
発生工程

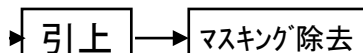


引上

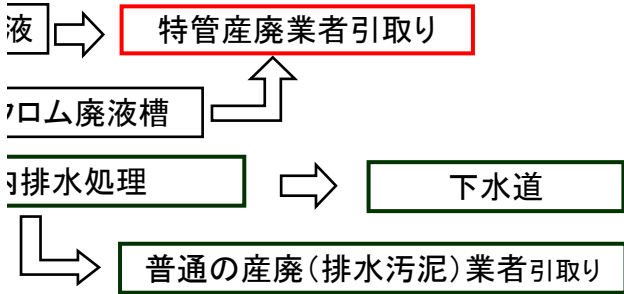
引上

内容	備考欄
業者委託	
t	*剥離槽へ剥離液として再利用
t	*剥離槽へ剥離液として再利用
8.6 t	*剥離槽へ剥離液として再利用
t	廃止
t	社内処理
2.7 t	*剥離槽へ剥離液として再利用
t	*剥離槽へ剥離液として再利用
1.0 t	キレート剤含有の為、再利用不可
1.5 t	キレート剤含有の為、再利用不可
1.3 t	キレート剤含有の為、再利用不可
2.9 t	キレート剤含有の為、再利用不可
t	
12.60 t	*他槽建浴時に他槽液再利用、その後委託処理
21 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者

クロム老化液(有害性廃酸)  
発生工程

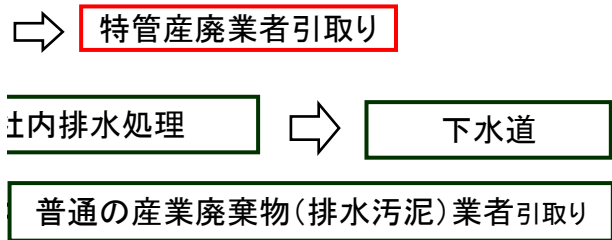
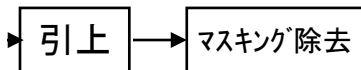






内容	備考欄
業者委託	
t	
t	
t	
t	
t	
25.6 t	*製造元へ再利用
4.6 t	*製造元へ再利用
t	
t	
11.4 t	*製造元へ再利用
t	
t	
t	
t	
16.8 t	*製造元へ再利用
58.36 t	

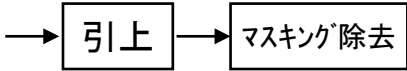
強廃酸 発生工程と  
普通の廃酸発生工程



内容	備考欄
業者委託	
t	
t	

t	普通の産業廃棄物	※ニッケル、銅、コバルトの金属塩類は処理委託業者にて、回収リサイクル
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
t		
0.0 t	特別管理産業廃棄物	
0.0 t		
0.0 t		
0.0 t		
0.0 t		
0.0 t		H23年廃止
0.0 t		
0.0 t		
t		
0.00 t	※*特別管理産業廃棄物処理業者	

強廃酸  
発生工程



取り



普通の産廃(排水汚泥)業者引取り

内容	備考欄
業者委託	
3.94 t	※特管として業者委託
t	
t	
t	
t	
t	
t	
t	
2.44 t	※特管として業者委託
0.12 t	※特管として業者委託
t	
t	
t	
0.00 t	※特管として業者委託
1.65 t	※特管として業者委託

調達

2.79 t	※特管として業者委託
21.56 t	※特管として業者委託
29.94 t	

3.57 t	※特管として業者委託
--------	------------

燃え殻

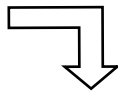
80%

▶ 出荷時梱包材



廃棄物の減量化に努めている。

合により廃却



普通の産業廃棄物業者引取り

内容	備考欄
業者委託	
10.0 t	焼却せず、普通の廃棄物として業者委託
0.46 t	
0.31 t	
0.15 t	
0.26 t	
2.46 t	
1.43 t	
0.15 t	
0.31 t	
0.14 t	
5.67	※特管として業者委託

廃薬品類

特管産業廃棄物引取り



付目生廃未日ヲ取ツ

内容	備考欄
業者委託	
0.000 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
0.000 t	*特別管理産業廃棄物処理業者
0.000 t	